

# 「世界におけるサハリン樺太史研究」

日時：2018年12月1日（土）10:00～17:30

事前申込不要

会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W棟）2階 W202室

登壇者

**東 俊佑（北海道博物館）**

「日本における前近代サハリン・樺太史研究の動向：1264-1867」

**竹野 学（北海商科大学）**

「日本における近代サハリン・樺太史研究の動向 その1」

**池田裕子（東海大学札幌キャンパス）**

「日本における近代サハリン・樺太史研究の動向 その2」

**ディン・ユリア（サハリン州郷土博物館）**

ポストソ連期ロシアにおけるサハリンおよびクリルについての主要な歴史研究

**韓 恵仁（成均館大学校）**

「韓国におけるサハリン関連調査及び研究動向」

**ジョナサン・ブル（北海道大学）**

"Recent work in the English language historiography of Sakhalin/Karafuto"

**中山大将（京都大学）**

「中国語圏におけるサハリン樺太史研究：

庫頁島中国固有領土論・山丹貿易・日本帝国植民地」

「サハリン／樺太史研究 DB(データベース)について：

個人作成資料目録の統合と活用」



主催：サハリン・樺太史研究会

共催：科学研究費補助金基盤研究（A）「日ソ戦争および戦後の引揚・抑留に関する総合的研究」，学術研究助成基金助成金（挑戦的萌芽研究）「境界地域史への地域情報学活用：サハリン島ミクロ歴史情報データベースの構築と応用」，北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター

問い合わせ先：サハリン・樺太史研究会事務担当鈴木 su-iin@eis.hokudai.ac.jp